

平成19年9月3日

## 工芸都市高岡2007クラフトコンペの新たな取り組み

### 1.背景

ものづくりのまち高岡が、1986年より開催している全国公募展「工芸都市高岡2007クラフトコンペ」も、今回で21回目を迎えました。

新たな展開として、富山大学芸術文化学部との事業連携や、入選作品の流通化を推進する。

### 2.審査会

作品搬入 9月1日(土)～9月3日(月)

審査会 9月6日(木)、7日(金) 審査員は別紙要綱の通り

### 3.今年度の新たな取り組み

**富山大学芸術文化学部の学生12名が、コンペの運営にボランティアスタッフとして参加。**

造形建築学科 (2年)1名 デザイン工芸学科 (2年)6名

デザイン情報学科(2年)3名 産業デザイン専攻科(3年)2名 合計12名

男子3名 女子9名

**審査会の準備中に、芸術文化学部の学生に、応募全作品を直に見られる機会を設ける。**

審査前日の9月5日(水)午後1時～3時に限定して実施、100名をめどに大学の地域連携室が見学希望者を取りまとめ中。

**受賞者、審査員、学生、伝統産業青年会の交流の場を設ける。**

従来まではテーブルカットに引き続き実施していた表彰式(平日の日中)を、関係者が参加のしやすい週末の夜に実施することにより、相互交流の機会が得られる。

**高岡市の若手職員が、クラフトコンペの事業運営に携わる。**

市の若手職員10数名が、ボランティアスタッフとして事業運営に参画。

**芸術文化学部の学生と、伝統産業青年会がクラフトコンペ出品に向けた共同制作。**

今年7月から芸術文化学部の内藤助教に仲介をお願いし、青年会有志と学生(デザイン工芸コースの2年生)によるものづくりに挑戦、現在は4グループで5～6点を製作中。

共同制作の様子を8月29日(水)午後1時30分より富山大学二上キャンパス、コミュニケーションセンター(1階)で報道関係が取材。

**今年度はより「流通」を意識したもの。**

今年度の審査員に流通の専門家である後藤陽次郎氏、友平宣通氏の2氏に依頼(従来は1名のみ) 加えて入賞の特別賞3点についても、流通に乗りうる作品を選定頂くよう事前に審査員に説明。

?参考資料?

工芸都市高岡2007クラフトコンペ開催要項

担当：クラフトコンペ実行委員会事務局 高岡商工会議所 企画事業部

TEL 23-5000 (担当 中山 空)